

感動と出会いの輪を広げよう!

会報 藏王

山形市藏王倫理法人会

第30号

発行:平成21年5月1日

5月

のモーニング
セミナー予定

●5月2日(土) 第260回
『方言の経緯と現在の天童方言について』
講師:東海大学山形高等学校
今川亮平 様

●5月9日(土) 第261回
『元気で行こう登り坂』
講師:(社)倫理研究所 法人
局普及事業部
部長
井上茂勝 様

●5月16日(土) 第262回
『肚をくくる』
講師:(社)倫理研究所
北海道東北副方面長
川又久萬 様

●5月23日(土) 第263回
『晩学の苦と楽』
講師:佐藤章夫 様

●5月30日(土) 第264回
『元アナウンサーの
TUTAPATA子育て日記』
講師:元さくらんぼテレビアナウンサー
遠藤敦子 様

皆様のご来場を
お待ちいたして
おります。



山形市藏王倫理法人会五周年記念

中村文昭氏講演会

入場には整理券が必要です。

※お申し込みいただいた企業様には、
後日事務局から整理券を郵送いたします。

場所 時間
六月九日(火)午後六時より
山形グランドホテル

モーニングセミナー委員長
小野 仁

至誠一貫

良い山形市、素晴らしいモーニングセミナー
を創る。理屈ではない。する、しないである。



モーニングセミナー委員長を務めさせていただいている、(有)オニールの小野仁です。

蔵王倫理法人会は、全国的に見ましても、セミナー参加者数が多いことを嬉しく思っております。

さて、現状のセミナー会場設営は、グランドホテルの皆

様にお任せするのが当たり前のことになっています。(これはこれで大変ありがとうございます。)しかし、モーニングセミナーは本来、会員有志が集会場をお借りして、テーブルや椅子を自分達で並べ、講師をお迎えして開催するのが原点です。5年目に来て、そういう原点を忘れてしまい、基本をおろそかにしてはいないか、ゆるくなってしまってはいないかが気になるところです。一生懸命であれば何でもOKというわけにはいきません。

私たちの委員会では、蔵王が5周年を迎えることを、モーニングセミナーの現状の見直しができる大変良い機会ととらえ、運営マニュアルにきちんと沿った形でモーニングセミナーが行われることで、皆様に気持ち良く参加できて良かったという雰囲気づくり、また、講話者に40分間話していただいて気持ち良く終えていただく環境づくりを目指します。

また、活性化につながる新しい提案も積極的にしていきたいと考えております。例えば、新規会員で毎回のように一生懸命来ていただいている方に新人賞のような表彰制度を設けるのはいかがでしょうか。

話は変わりますが、私は、社業の他、山形市議会議員も務めており、現在は公務のウェイトがかなり大きくなっています。この大不況下の山形経済をどうするか。これは民間活力の生まれてくる施策をどんどんやる以外にないと、全力で取り組

んでいるところです。

市民気質についてですが、山形市民は、人を育て上げ、持ち上げる気持ちに若干欠けているところがあるのではないか、一生懸命やる人を支える気持ちが少し足りないのではないかと思うことがあります。交響楽団やプロスポーツへの財政支援不足を耳にしますが、市民がほんの少し関心を示すだけで違ってきます。スポーツで子供が在籍していれば一生懸命ですが、卒業となるとすっと引いてしまう。問題はココです。ダイレクトでなくても支えなくてはという気概を皆で持ちたい。

そういう意味では、やはり倫理の普及が大切です。まずは山形市職員に。県内の自治体で、積極的に倫理法人会と係わっているところもありますので、山形市も同じように倫理法人会との結びつきを作りたいと考えています。勿論、市長へも働きかけていますし、幹部や特別職の方へ定期的に倫理の大切な部分をお伝えしたい。また、市議会で入会していただければ、議員全員が各単会で講演をするなど、より市や議会と経済界が結びつく機会が生まれてくるはずです。

私が倫理の実践から得たことは、人に對して謙虚な姿勢で接することができるようになったことです。議員という立場上、議論の場では自分の意見を正しいと主張しがちですが、相手の話を理解し、考え方を尊重できるようになりました。

また最近は、山大や山短のインターン生など、若い人達と係わることが多いのですが、オヤジっぽい意見でモーニングセミナーに来きなさいというような上から目線ではなく、社会人でそれなりの立場の人達が、朝、時間を作つて勉強する姿を見てみないかと言うと、喜んで参加してくださいます。そういう若い人との接点を持っています。

父から受け継いだ言葉『至誠一貫』を実践し、良い山形市、素晴らしいモーニングセミナーを創つまいります。これからもよろしくお願ひいたします。

MS

4月の
モーニング
セミナー

●第256回 = 平成21年4月4日 (土)

『常住戦場』

講師：（社）倫理研究所
普及本部本部長
常任理事
中西 浩 様

【講話】せっかくの機会ですので、別途掲載いたします。

【出席】36社55名 【輪読】15 信成万事
【今週の倫理】妻への感謝の念が経営
安定の必須条件

●第257回 = 平成21年4月11日 (土)

『鶴岡市立加茂水族館のクラゲ 展示の取組』

講師：鶴岡市立加茂水族館
副館長兼飼育課長
奥泉和也 様

【内容抜粋】●加茂水族館は、1930年
地元の有志が出資して生まれました。
倒産など絶縁曲折を経て今は鶴岡市に
買い戻されています。●開館当初20万
人であった入館者数は、平成9年には10
万人を切ってしまいました。最低の入
館者数であったまさにその年、さかさ
クラゲと遭遇しました。●現在はノー
ベル賞科学者、下村脩先生のオワンク
ラゲフィーバーもあり、20万人に手が
届きそうです。●クラゲ展示は61種類
を数え世界一です。●クラゲを素材に
使ったアイスや定食、ラーメンなどが
大人気です。

【出席】35社54名 【輪読】16 心即太陽
【今週の倫理】花の咲かない寒い日は
下へ下へと根を伸ばす好機



(蔵王相談役 鈴木隆一)

●第258回 = 平成21年4月18日 (土)

『富士研報告』

講師：蔵王研修副委員長 板垣喜代志 様

【内容抜粋】●8人の共同生活の中で挨拶の方法、布団の出し入れ、食事のこと、全部のなかでの7アクトの達になれということでした。●実際に体験してみると、心に残ったことがたくさんありました。●私は、わが社の発展と人々の幸せを念願しつつ自分の向上をはかりますと約束して帰ってきました。●私の決意として、3つ目標を立ててきましたが、そのひとつを紹介します。それは、健康管理に万全を尽くして、心身共に明朗愛和の生活を送るという実践の目標です。●8時間の長旅でしたが、バスの中は最高に楽しいひと時でした。

講師：蔵王会長 池田修一 様

【内容抜粋】●自然との出会い。赤富士が見されました。●私は7アクトの達人になってきました。●挨拶と返事と後始末をしっかりとやってきましたが、これを全員が呼吸を揃えてやるのが一番大変でした。私はこのことが一番の収穫だったと思っております。●言葉との出会いがありました。『六愛語』というものです。●お父さんの子供への言葉のかけ方は3つ、しっかりとやれよ、大丈夫だよ、良くやったね。これはお父さんの子供への評価と称賛の言葉です。●また、お母さんの子供への言葉のかけ方は3つ、大変だったね、良かったね、偉かったね。これはお母さんの温もり、共感と包容の言葉です。是非使ってみてください。

講師：蔵王相談役 鈴木隆一 様

【内容抜粋】●もし、人と人との絆が深く、思いやりに溢れ、志が一緒であり、社会の安全や安心を重視する人たちが暮らす社会であれば、私たちの未

来は幸せではないかと思います。●そういう社会のために我々経営者は今、何ができるかということです。●それは今、良い会社をつくること、良い社会をつくるために残すことです。●自分の会社を良くするというのは、経営者の一番の務めであって、では良い会社とは何なのか。それは、良い心を持つ会社、良い人材がいる会社、良い製品を持っている会社だと思います。●良い会社は良い心がつくるのだと思います。●良い心は良い習慣によって守られ、支えられ、育まれるのだと思います。●この良い習慣というのが実は7アクトです。会社の朝の挨拶が未来社会につながっているということを感じられるかどうかが大切だと思います。

【出席】29社44名 【輪読】17 人生神劇
【今週の倫理】うまく年を重ねて活力
のある日々を送る

●第259回 = 平成21年4月25日 (土)

『モンティディオ山形J1昇格 悲願達成には、何が必要だった のか』

講師：山形徳洲会病院
整形外科部長
大沼 寧 様

【内容抜粋】●チーム力とは選手、スタッフ、背景にある資金力などを含めた総合力のことです。●小林監督のリーダーシップが、J1で上位を維持している原動力になっています。●決断力と、数試合でも結果によっては解任される危機感が大きいです。●J1におけるモンティディオ山形は、中小企業のような存在です。●全選手の練習まで目を通す努力が、選手のモチベーションを高めています。

【出席】41社79名 【輪読】1 日々好日
【今週の倫理】個々の気を揃えて組織
を活性化させよう

G W期間中の今、弊社では三名の社員が海外に出張しています。そのうちの一人、二十七歳のA君はたったひとりで中国奥地に落花生の種まきの立会いに出かけ、中国のお百姓さんを指導監督しています。落花生はちょうど今頃が播種の時期なのです。

ところで彼は先月結婚したばかり。初めてのG Wはさぞかし花嫁さんと二人で過ごしたかったことでしょう。でも彼は行つてくれました。そのことをとてもありがたく、うれしく思っています。

よい商品はよい人によって作られます。そして、よい人はよい心によつて育てられます。よい心とは、経営理念でしようか？よい心とは、経営者の心そのものだと思ひます。だから経営者は倫理を実践し、心を磨かなければなりません。そう思うと力が湧いてきます。このG W中もA君や他の社員さんたちを磨かなければなりません。このことを思い出し、感謝し、やる気をフル充電させたいと思ひます。



相談役のマメなお話
第8回

よい心、よい社員